

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (みなと医療生活協同組合)
 事業所名 (介護老人保健施設 あつたの森)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
装着型介護ロボット(移乗・排泄・入浴)		HAL®介護支援用(腰タイプ)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成29年2月9日	1	平成29年2月9日	年 月 日から	年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】				
<ul style="list-style-type: none"> ・使用する業務: 排泄介助(トイレでの移乗介助や立ち上がり介助、ベッド上でのオムツ類の交換) ・更衣介助(ベッドサイドでの上衣・下衣の交換、靴下や靴の介助) ・移乗介助(ベッド・車椅子間の移乗、車椅子・椅子間の移乗) ・使用頻度: 安全使用講習修了者7人を対象に、1ヶ月あたり平均1,820分(最高3,280分、最低1,080分)を使用した。 				
【介護ロボットの導入効果】				
<ul style="list-style-type: none"> ・介護従事者の介助中の立ち上がり動作や左右の回転動作時に、介護ロボットのアシストにより腰への負担が軽減されている。 ・介護従事者の腰への負担軽減に伴い、安定した動作で介護に従事する事ができ、利用者の安心感につながっている。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (みなと医療生活協同組合)
 事業所名 (介護付有料老人ホーム 虹の郷)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
装着型介護ロボット (移乗・排泄・入浴)		HAL@介護支援用 (腰タイプ)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日		リースの契約期間
2017年2月21日	1台	2017年	2月	21日
				年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- 2017/5/10、7/13 介護ロボット管理者による全職員を対象とした「使用者装着講習会」を実施。体格などにより装着不可の者以外は装着講習を受け、10月末には装着可能な職員は交代で装着労働を行っている。
- 2017/7/29に開催した「運営懇談会」では、入居者・ご家族に対しHALを紹介し、使使用のご理解を得た。
- 現在は、夜勤時を含め、交代でベッド⇄車椅子の移乗介助や、排泄・更衣などの介助の際に使用している。

【介護ロボットの導入効果】

①使用する業務、使用頻度

車椅子⇄ベッドの移乗介助、排泄・更衣などの介助時に毎日交代で使用している。

②職員の処遇改善

- ・前のめり姿勢や中腰の姿勢の際腰部への負担が軽減されていると感じている。
- ・これまで職員2人による移乗介助が1人介助で可能になった入居者が居られる

③利用者の満足度向上

- ・職員の介護負担が軽減されることで、入居者の精神的負担も軽減できる。
- ・介護ロボットを装着し、安定的に介護を行う事で入居者へ安心感を与えられている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。